



みんなの力で

大江戸線を新座市へ

■新座市が目指す延伸ルートと新駅の位置



交通政策審議会の答申とは

12号線を始めとした東京圏の鉄道整備は、交通政策審議会が15年に1回程度示す答申(整備方針)に沿う形で計画的に進められます。これまでの、平成12年1月に当時の運輸政策審議会が示した答申に応じて、各事業者・自治体による整備又は事業化の検討が行われてきました。交通政策審議会では、平成12年の答申に代わる新たな整備方針の取りまとめに向けて検討を進めています。

国では、平成42年(2030年)を目標準年とする東京圏の鉄道整備に関する新たな方針を取りまとめるため、国土交通大臣の諮問機関である交通政策審議会による検討を進めています。昨年7月から9月には、同審議会から東京都や埼玉県などの自治体や鉄道事業者に対してヒアリングが行われ、12号線の延伸に関しては東京都及び埼玉県から提案がなされたところ。このヒアリングの結果などを踏まえ、今年度中に検討結果が答申として示される予定となっています。延伸実現のためには、この答申において、光が丘駅から新座市中央部、更にはJR武蔵野線方面までの区間が一体的に「整備すべき路線」として位置付けられることが非常に重要です。

国の鉄道整備の新たな方針が間もなく決定！

12号線の延伸実現に向けては、東京圏の鉄道整備に関する新たな方針が国から間もなく示される予定であり、正に勝負の時を迎えています。そうした中、昨年は市民の皆さんや近隣自治体と連携、協力した様々な活動を展開しましたので、国の動向と併せて紹介します。また、今後も引き続き、活発な活動を展開し、延伸実現に向けた地元の盛り上げをアピールしていくことが重要となりますので、皆さんのご協力をお願いします。

みんなの力で大江戸線を新座市へ

「地下鉄12号線(都営大江戸線)の延伸に向けて」

問合せ
地下鉄12号線
延伸促進室
(☎048-424-9624)

国土交通省、東京都、埼玉県へ要望！

須田市長が会長を務める、「新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会」及び「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区)」では、12号線の光が丘駅から新座市方面、更にはJR武蔵野線東所沢駅までの区間が早期に延伸されるよう、国土交通省、同省関東運輸局、東京都及び埼玉県に対して要望を行いました。

●新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会



平成27年11月に実施した埼玉県への要望では、上田知事から「新座市が策定したまちづくり構想は熟度が高く、具体性もありとても良い。また、車両基地用地の提供も魅力的である。交通政策審議会の次期答申に向けて県として互いに協力しながら働き掛けを行っていききたい。」とのコメントを頂きました。

●都市高速鉄道12号線延伸促進協議会



▲国土交通省の要望の様子

平成27年8月に東京都(面会者:安井都技監)、同年11月に国土交通省(同:藤田鉄道局長、同省関東運輸局(同:濱関東運輸局長及び埼玉県(同:上田知事)に要望を行いました。

新駅周辺地区におけるまちづくり構想を策定！

市中央部の新駅(仮称)新座中央駅想定地周辺地区において12号線の延伸と合わせて実施するまちづくり構想を策定しました。

この構想は、目指すべきまちづくりの方向性として「①住んでよし」、「②訪れてよし」、「③安全・安心」を掲げ、土地区画整理事業による宅地開発や道路網の整備に加え、関越自動車道と連携したパークアンドライドシステム(※)の構築や、医療、教育、商業業務等の施設誘致など、定住人口の増加や新座市と都心部との双方の鉄道利用者の創出、更には



観光資源に恵まれていることや、地震などの自然災害に強いといった本市の地域特性をいかした「広域的な都市機能」の創出を目指したものです。あわせて、12号線延伸による車両の増備に対応するため、車両基地用地についても想定しています。

この構想の実現に向けては、想定する誘致施設の事業者などに対するアンケート調査やヒアリングを行ったほか、関越自動車道へのスマートインターチェンジの設置について、関係機関との調整会議において検討しているところです。また、市の観光資源を活用した坐禅や茶道などの体験型の観光プログラムの充実や、安全・安心にウォーキングを楽しむための散策路の整備など、来訪者を呼び込むための観光面の取組も推進しています。

※パークアンドライドとは？
自家用車などで駅近くまで行き、車を駐車させた後、鉄道を利用して都心部の目的地に向かうシステム